

# 災害用非常食セット入り

## 「白い小箱運動」調印

### 桑名市と日本推進機構

【桑名】桑名市は二十二日、一般社団法人日本非

災害救助に必要な物資調達  
の協定に調印した。「白い  
小箱運動」と銘打ち、県内  
の協賛企業でつくった災害  
用非常食セットを、市を通  
じて各地区防災訓練時に年  
間約三千個配布し、家庭で

備蓄してもらおう。

小箱は、県内六企業と鈴  
鹿市の授産施設が協力して  
製造。一人一日分のアルフ  
ア米二食、水二杯、高齢者  
や女性用衛生用品、ブドウ  
糖などが入り、簡易トイレ  
にも使える。

災害時には自身で使用  
し、近隣市町で災害が起き  
た場合には、同機構が回収  
して被災地へ送る。使用し  
なかつた場合は、非常食の  
賞味期限内の三年後、NG  
O「ユニテッドアース」

(神戸市)を通じてアジア  
の発展途上国に寄付する。

同市役所であった調印式  
で水谷元市長は「自助、共  
助、公助の連携で防災力の  
向上に努めたい」とあいさ  
つ。古谷理事長は「協定は  
大きな一歩。息の長い活動  
として展開し、全国に一世  
帯一つは必ず備蓄できるよ  
う広めていきたい」と述べ  
た。

同機構は四月中までに、  
同市を含め県内五つの自治  
体と協定を締結する。



災害用非常食セット「白い小箱」を手にする水谷市長(右)と古谷理事長(左)桑名市役所で